### 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/不動産投信
信託期間	2028年10月10日まで(2013年11月29日設定)
運用方針	主として、三菱UFJ Jリートマザーファント 2004受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所に上場している(上場予定を含みます。)不動産投資信託証券(不動産投資法人の投資証券もしくは新投資口予約権証券または不動産投資信託の受益証券をいいます。)への投資を行い、信託財産の中長期的な成長を目標として運用を行います。
	ベ ビ ー ファンド = 三菱UFJ Jリートマザーファンド だ2004受益証券を主要投資対象とします。
主要運用対象	マ ザ ー いる (上場予定を含みます。) 不動 ファンド 産投資信託証券を主要投資対象とします。
主な組入制限	投資信託証券への実質投資割合に制 べ ビ ー 限を設けません。 ファンド 株式および外貨建資産への投資は行いません。
土は耐入制限	投資信託証券への投資に制限を設け マ ザ ー ません。 ファンド 株式および外貨建資産への投資は行 いません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘算して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

- ※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
- ※公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度「NISA (ニーサ)」 の適用対象です。

詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書(全体版)

# 三菱UFJ Jリートオープン (年1回決算型)



第2期(決算日:2015年10月13日)



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、お手持ちの「三菱UFJ Jリートオープン (年1回決算型) は、去る10月13日に第2期の決算を行 いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し 上げます。

三菱UFJ投信株式会社は2015年7月1日に国際投信 投資顧問株式会社と合併し、「三菱UFJ国際投信株式 会社」となりました。



# 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号 URL:http://www.am.mufg.jp/

本資料の記載内容に関するお問い合わせ先

お客さま専用フリーダイヤル TEL. 0120-151034

(9:00~17:00、土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取り扱いの販売会社にお尋ねください。

# ◆目 次

⟨ 三菱UFJ Jリートオープン(年1回決算型)のご報告 ⟩
◇設定以来の運用実績 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
◇当期中の基準価額と市況等の推移・・・・・・・・・ 1
◇運用経過 · · · · · · · · · · · · 2
◇今後の運用方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
◇1万口当たりの費用明細 ・・・・・・・・・・・・・ 7
◇売買及び取引の状況・・・・・・・・・・・・・・・・8
◇利害関係人との取引状況等・・・・・・・・・・・・・・8
◇組入資産の明細・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
◇投資信託財産の構成・・・・・・・・・・・・・・・・・9
◇資産、負債、元本及び基準価額の状況・・・・・・・・・・・・10
◇損益の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・10
◇お知らせ ・・・・・・・・・・・・・・・・11
マザーファンドのご報告
────────────────────────────────────

### 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

### 〇設定以来の運用実績

決	算	期	基(分配落)	準税	価みり		額中	( 参 考 東証REIT	指数(配当期	中	投資	f 信 、比	託券率	純総	資	産額
(設)	定日)		円	分	金朋	駦 落	· 率 %		騰落	· 率 %	<b>ДД</b> /		%		百万	万円
	)13年11月2	9日	10, 000		_		_	2, 434. 17		_			_			10
1期	](2014年10月	10日)	11, 363		0		13.6	2, 803. 66		15. 2		98	3.4		4,	073
2期	](2015年10月	13日)	12, 230		0		7.6	2, 965. 33		5.8		97	7.3		8,	624

- (注) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注)東証REIT指数(配当込み)とは、東京証券取引所に上場している不動産投資信託全銘柄を対象として算出した東証REIT指数に、分配金支払いによる権利落ちの修正を加えた指数です。東証REIT指数の商標に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は東証REIT指数の内容の変更、公表の停止または商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。東京証券取引所は東証REIT指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対して、責任を負いません。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基	準		価	額	( 参 東証 R	Е	考 I T		旨 :(配	数 当 $\bar{\nu}$	) (み)	投証	資	信	託券率
					騰	落	率				騰		落	率	組	入	比	率
	(期 首)			円			%							%				%
	2014年10月10日			11, 363			_	4	2, 8	03.6	3			_				98.4
	10月末			11, 866			4.4	4	2, 9	42. 2	9			4.9				98.7
	11月末			12, 711			11.9	(	3, 1	39. 7	2			12.0				98.2
	12月末			13, 307			17. 1	(	3, 2	73.6	О			16.8				98.5
	2015年1月末			13, 306			17. 1	(	3, 2	60.6	4			16.3			Ć	96.9
	2月末			13, 353			17. 5	(	3, 3	06.0	3			17.9			Ć	97.6
	3月末			13, 184			16.0	;	3, 2	41.6	2			15.6			ć	96. 1
	4月末			13, 278			16. 9	;	3, 2	67. 3	3			16.5			ć	97.0
	5月末			13, 239			16.5	;	3, 2	57. 9	7			16. 2			Ć	98. 1
	6月末			12, 947			13. 9	;	3, 1	57. 6	9			12.6			ć	95.9
	7月末			12, 661			11.4	;	3, 1	00.4	)			10.6			ć	99.2
	8月末			11, 893			4.7	4	2, 8	81.0	3			2.8			Ć	98.4
	9月末			12, 167			7. 1	4	2, 9	64. 5	3			5. 7			Ć	96.2
	(期 末)																	
	2015年10月13日			12, 230			7.6	4	2, 9	65. 3	3			5.8			ç	97.3

- (注)騰落率は期首比。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

## 運用経過

## 当期中の基準価額等の推移について

(第2期:2014/10/11~2015/10/13)

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ7.6%の上昇となりました。



第2期首 : 11,363円 第2期末 : 12,230円 (既払分配金 0円) 騰落率 : 7.6%

## 基準価額の主な変動要因

上昇要因

日銀による追加的な金融緩和策が発表されたことが基準価額の上昇要因となりました。

## 投資環境について

(第2期:2014/10/11~2015/10/13)

### ◎J-REIT市況

- ・2014年10月末に日銀が追加的な金融緩和策を発表したことにより東証REIT指数(配当込み)は急騰しましたが、2015年に入ると、長期金利が底打ちし上昇傾向へと転じたことや、相次ぐ公募増資が発表されたことなどを受け上値の重い展開となりました。
- 7月以降は、ギリシャの債務問題に加え中国などの景気減速などが懸念されて世界の株式市場が調整するなか、下落基調で期末を迎えました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

<三菱UFJ Jリートオープン(年1回決算型)>

・主として、三菱UFJ Jリートマザーファンド2004受益証券を通じて、わが国の金融商品取引所に上場している(上場予定を含みます。)不動産投資信託証券(J-REIT)に投資しています。J-REITの組入比率は高水準(90%以上)を維持しました。

<三菱UFJ Jリートマザーファンド2004> 基準価額は期首に比べ9.0%の上昇となりました。

- ・銘柄選定およびポートフォリオの構築は主に、定性的評価・定量的評価を経て行っています。
- ・定性的評価については、事業内容および財務内容などの分析を中心に行い、定量的評価においては、キャッシュフロー、配当利回り、PBR(投資口価格純資産倍率)などの分析を行いました。
- ・組入銘柄数は45銘柄程度で推移させました。
- ・主な売買動向については、今後も堅調な業績の見込まれるジャパン・ホテル・リート投資法 人のウェイトを引き上げたことや相対的に割安感の後退した日本リテールファンド投資法人 のウェイトを引き下げたことなどが挙げられます。

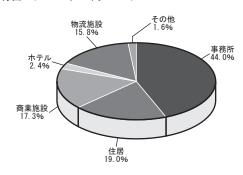
## (プラス要因となった主な銘柄)

- ・インヴィンシブル投資法人:高収益なホテル物件の取得による業績の大幅な拡大が見込めることから期首より保有。投資口価格は上昇しプラスに寄与。
- ・オリックス不動産投資法人:物件取得や賃料値上げによる業績の回復基調を評価し期首より 保有。投資口価格は上昇しプラスに寄与。
- ・大和証券オフィス投資法人:都心オフィス中心の物件ポートフォリオや業績の回復基調を評価し期首より保有。投資口価格は上昇しプラスに寄与。

### (ご参考)

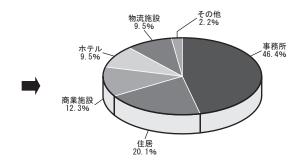
### ファンド全体の用途構成

期首(2014年10月10日)



(注) 比率は不動産投資信託証券評価額に対する割合です。

### 期末(2015年10月13日)

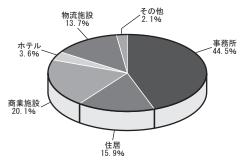


(注) 比率は不動産投資信託証券評価額に対する割合です。

### (ご参考)

### 参考指数の用途構成

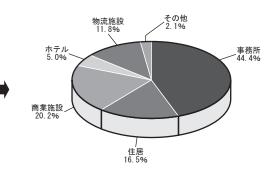
期首(2014年10月10日)



(注) 作成基準日において、各投資法人が公表している直近 の決算期末現在のデータより三菱UFJ投信にて作 成。

ただし、上場後または合併後、決算期末が未到来の投資法人および新規上場(上場予定含む)の投資法人については、上場時に公表または合併直前の決算期末現在に公表しているデータを使用。

### 期末(2015年10月13日)

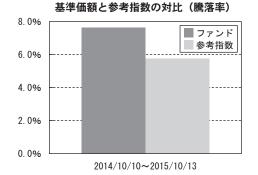


(注) 作成基準日において、各投資法人が公表している直近 の決算期末現在のデータより三菱UFJ国際投信にて 作成。

ただし、上場後または合併後、決算期末が未到来の投資法人および新規上場(上場予定含む)の投資法人については、上場時に公表または合併直前の決算期末現在に公表しているデータを使用。

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド(ベビーファンド)の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- 参考指数は東証REIT指数(配当込み)です。



### 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益(留保益)につきましては、信託 財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

### 【分配原資の内訳】

(単位:円、1万口当たり、税込み)

	第2期
項目 	2014年10月11日~2015年10月13日
当期分配金	_
(対基準価額比率)	-%
当期の収益	_
当期の収益以外	_
翌期繰越分配対象額	2, 229

- (注) 対基準価額比率は当期分配金 (税込み) の期末基準価額 (分配金込み) に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
- (注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない 場合があります。

## 今後の運用方針

<三菱UFJ Jリートオープン(年1回決算型)>

- ◎今後の運用方針
- ・三菱UFJ Jリートマザーファンド2004受益証券の組入比率は、運用の基本方針にしたがい、引き続き高水準(90%以上)を維持する方針です。

<三菱UFJ Jリートマザーファンド2004>

- ◎運用環境の見诵し
- ・当面のJ-REIT市場は、底堅い展開を想定しています。
- ・オフィス市況については、テナントの動きが活発化していることに加え、賃料の回復についても優良な一部物件以外への広がりが見られます。REIT各社の業績については、物件取得による収益寄与に加えてオフィス中心に賃料値上げが徐々に浸透しつつあり、増益への期待が高まりつつある状況です。
- ・バリュエーション(投資価値基準)については、配当利回りなどの観点から引き続き投資魅力はあるとみています。今後見込まれる高水準の公募増資などを消化しながらも、市場は底堅く推移するものとみられます。

### ◎今後の運用方針

- ・REITの組入比率については、運用の基本方針にしたがい、引き続き高水準(90%以上) を維持する方針です。
- ・配当利回りやPBRなどのバリュエーション、また物件ポートフォリオのクオリティなどに 着目し、安定した分配金が見込め相対的に割安と思われる銘柄への投資ウェイトを高めた運 用を行います。
- ・前述の不動産市況を踏まえ、保有物件の賃料動向など、REIT各社の業績の先行きについて特に注意深く見守るほか、スポンサーのサポート体制などにも着目していく方針です。

## 〇1万口当たりの費用明細

### (2014年10月11日~2015年10月13日)

	項	Ĩ			目		当 金 額	期 比率	項 目 の 概 要
							E.		
(a)	信		託	報	ł	酬	140	1. 089	(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率
	(	投	信	会	社	)	(70)	(0. 544)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等 の作成等の対価
	(販売会社)						(63)	(0.490)	分配金・償還金・換金代金支払等の事務手続き、交付運用報告書等の送付、購入後の説明・情報提供等の対価
	(受託会社)						( 7)	(0.054)	投資信託財産の保管・管理、運用指図の実行等の対価
(b)	売	買	委言	毛 手	数	料	26	0. 206	(b)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等を売買する際に発生する費用
	(	投資	信	託言	証 券	)	(26)	(0. 206)	
(c)	そ	の	H	łı	費	用	0	0.003	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
	(監査費用)						( 0)	(0.003)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
	合 計 166 1.298							1. 298	
	期中の平均基準価額は、12,826円です。							す。	

- (注) 期中の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した 結果です。
- (注)消費税は報告日の税率を採用しています。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに 小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 〇売買及び取引の状況

(2014年10月11日~2015年10月13日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

Ī	約	杻		設	定			解	約	ı
	妬	枘		数	金	額	П	数	金	額
				千口		千円		千口		千円
	三菱UFJ Jリートマ	ザーファンド2004	2,	138, 344	5	, 582, 473		452, 398	1	, 137, 479

### ○利害関係人との取引状況等

(2014年10月11日~2015年10月13日)

### 利害関係人との取引状況

<三菱UFJ Jリートオープン(年1回決算型)> 該当事項はございません。

### <三菱UFJ Jリートマザーファンド2004>

		買付額等			士山城水		
区	分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{\mathrm{B}}{\mathrm{A}}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{\mathrm{D}}{\mathrm{C}}$
		百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券		189, 475	68, 127	36.0	164, 356	61, 901	37. 7

### 平均保有割合 4.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

### 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

### <三菱UFJ Jリートマザーファンド2004>

—					
	種	類	買	付	額
					百万円
投資	資信託証券				10,006

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項	目	当	期	
売買委託手数料総額(A)				15,270千円
うち利害関係人への支払額(	B)			5,645千円
(B) / (A)				37.0%

(注) 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱 UFJモルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUFG証券です。

## ○組入資産の明細

(2015年10月13日現在)

## 親投資信託残高

銘	柄	期首(	前期末)		当	朝 末	
野白	173	口	数	П	数	評	価 額
			千口		千口		千円
三菱UFJ Jリートマ	ザーファンド2004		1, 786, 911		3, 472, 858		8, 605, 742

## ○投資信託財産の構成

### (2015年10月13日現在)

項	B		当	其	期	末
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Ħ	評	価	額	比	率
				千円		%
三菱UFJ Jリートマザーフ	アンド2004			8, 605, 742		97.8
コール・ローン等、その他				195, 145		2. 2
投資信託財産総額				8, 800, 887		100.0

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年10月13日現在)

#### 項 目 当期末 円 (A) 資産 8, 800, 887, 421 コール・ローン等 73, 638, 278 三菱UFJ Jリートマザーファンド2004(評価額) 8,605,742,381 未収入金 121, 506, 644 未収利息 118 176, 377, 106 (B) 負債 未払解約金 128, 335, 580 未払信託報酬 47, 917, 003 その他未払費用 124, 523 (C) 純資産総額(A-B) 8, 624, 510, 315 元本 7, 052, 175, 512 次期繰越損益金 1, 572, 334, 803 (D) 受益権総口数 7. 052. 175. 512 🗆 1万口当たり基準価額(C/D) 12,230円

### <注記事項>

①期首元本額 3,584,393,298円 期中追加設定元本額 5,777,300,601円 期中一部解約元本額 2,309,518,387円 また、1口当たり純資産額は、期末1,2230円です。

## 〇損益の状況

(2014年10月11日~2015年10月13日)

	項目	当 期
		円
(A)	配当等収益	35, 501
	受取利息	35, 501
(B)	有価証券売買損益	△ 57, 237, 835
	売買益	117, 729, 578
	売買損	△ 174, 967, 413
(C)	信託報酬等	△ 79, 398, 496
(D)	当期損益金(A+B+C)	△ 136, 600, 830
(E)	前期繰越損益金	177, 670, 409
(F)	追加信託差損益金	1, 531, 265, 224
	(配当等相当額)	( 371, 431, 534)
	(売買損益相当額)	(1, 159, 833, 690)
(G)	計(D+E+F)	1, 572, 334, 803
(H)	収益分配金	0
	次期繰越損益金(G+H)	1, 572, 334, 803
	追加信託差損益金	1, 531, 265, 224
	(配当等相当額)	( 383, 401, 926)
	(売買損益相当額)	(1, 147, 863, 298)
	分配準備積立金	291, 360, 887
	繰越損益金	△ 250, 291, 308

- (注) **(B) 有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みませ
- (注) (6) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加 設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

### ②分配金の計算過程

項	目	2014年10月11日~ 2015年10月13日
費用控除後の配当等収益額		113, 690, 478円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価	<b> 証券売買等損益額</b>	-円
収益調整金額		1, 280, 973, 916円
分配準備積立金額		177, 670, 409円
当ファンドの分配対象収益額		1, 572, 334, 803円
1万口当たり収益分配対象額		2, 229円
1万口当たり分配金額		-円
収益分配金金額		-円

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (http://www.am.mufg.jp/) をご覧ください。

### 「お知らせ〕

- ①書面決議を行う場合の受益者数要件の撤廃を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。 (2014年12月1日)
- ②併合手続要件の緩和を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

- ③買取請求の一部適用除外を信託約款に記載し、信託約款に所要の変更を行いました。 (2014年12月1日)
- ④運用報告書の二段階化について信託約款に記載し、所要の変更を行いました。

(2014年12月1日)

- ⑤新たに発行可能となる新投資口予約権を投資の対象とする有価証券に追加し信託約款に所要の変更を行いました。 (2014年12月1日)
- ⑥デリバティブ取引等のリスク量計算を規格化し、定量的に規制する旨を信託約款に記載し、所要の変更を行いました。 (2014年12月1日)
- ⑦2015年7月1日に国際投信投資顧問株式会社と合併し、商号を三菱UFJ国際投信株式会社へ変更し、信託約款に所要の変更を行いました。 (2015年7月1日)
- ⑧2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%(法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。))の税率が適用されます。

## 〇 (参考情報) 親投資信託の組入資産の明細

(2015年10月13日現在)

### <三菱UFJ Jリートマザーファンド2004>

下記は、三菱UFJ Jリートマザーファンド2004全体(60,860,352千口)の内容です。

## 国内投資信託証券

A6 177	期首(前	前期末)			当 期 未	ŧ	
銘	П	数	П	数	評 価 額	比	率
		千口		千口	千円		%
日本アコモデーションファンド投資法人		2		5	2, 421, 337	•	1.6
MCUBS MidCity投資法人		3		20	6, 671, 680	)	4.4
森ヒルズリート投資法人		36		32	4, 476, 815	;	3.0
野村不動産レジデンシャル投資法人		2		_	=		_
産業ファンド投資法人		0.79		6	3, 079, 026		2.0
大和ハウスリート投資法人		1		2	1, 283, 814		0. 9
アドバンス・レジデンス投資法人		28		19	4, 877, 891		3. 2
ケネディクス・レジデンシャル投資法人		_		8	2, 588, 084		1. 7
アクティビア・プロパティーズ投資法人		5		12	6, 417, 248		4. 3
GLP投資法人		32		31	3, 627, 990		2. 4
コンフォリア・レジデンシャル投資法人		2		9	2, 094, 980		1.4
日本プロロジスリート投資法人		26		29	6, 232, 475	'	4. 1
野村不動産マスターファンド投資法人 SIA不動産投資法人		31		_	010 700		
コイオンリート投資法人		4		1	813, 780 882, 744		0. 5 0. 6
イオンリート投資伝入   ヒューリックリート投資法人		7		1	299, 407		0. 0
日本リート投資法人		6		9	2, 536, 224		1. 7
インベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人		5		19	1, 867, 359		1. 2
トーセイ・リート投資法人		_		3	444, 449		0. 3
ケネディクス商業リート投資法人		_		14	3, 303, 783		2. 2
野村不動産マスターファンド投資法人		_		38	6, 150, 393		4. 1
日本ビルファンド投資法人		12		18	10, 139, 071		6. 7
ジャパンリアルエステイト投資法人		12		13	6, 983, 008	1	4.6
日本リテールファンド投資法人		24		6	1, 479, 167	,	1.0
オリックス不動産投資法人		46		38	6, 148, 342	:	4. 1
日本プライムリアルティ投資法人		9		5	1, 955, 569	)	1.3
プレミア投資法人		0.04		4	2, 494, 520	)	1.7
東急リアル・エステート投資法人		4		2	318, 668		0.2
グローバル・ワン不動産投資法人		5		5	2, 075, 700	)	1. 4
野村不動産オフィスファンド投資法人		0.525		_	_		_
ユナイテッド・アーバン投資法人		34		20	3, 256, 494		2. 2
森トラスト総合リート投資法人		17		15	3, 209, 900		2. 1
インヴィンシブル投資法人		125		177	13, 038, 092		8.6
フロンティア不動産投資法人		3		0. 257	121, 946		0. 1
平和不動産リート投資法人 日本ロジスティクスファンド投資法人		31 18		28 1	2, 490, 669 295, 718		1. 7 0. 2
「一本ロンペティクペファント投資伝入   福岡リート投資法人		18		0. 187	295, 718 34, 445		0. 2
個両リート投資伝入   ケネディクス・オフィス投資法人		6		0. 187 5	2, 982, 563		2. 0
クイノイクへ・オフィへ投資伝入     積水ハウス・S I   レジデンシャル投資法人		2		20	2, 152, 672		1. 4
いちごオフィスリート投資法人		21		78	6, 321, 872		4. 2
大和証券オフィス投資法人		11		14	8, 698, 680		5. 8
阪急リート投資法人		0.607		0.872	114, 580		0. 1
スターツプロシード投資法人		0. 085		2	388, 285		0. 3
トップリート投資法人		1		1	644, 840		0.4

銘	柄	期首(前	前期末)		当 期 末				
<b>亚</b> 白	173	П	数	П	数	評 価	額	比	率
			千口		千口		千円		%
大和ハウス・レジデンシ			4		11	2	, 586, 175		1.7
ジャパン・ホテル・リー	- ト投資法人		19		90	7	, 256, 951		4.8
日本賃貸住宅投資法人			37		22	1	, 772, 069		1.2
ジャパンエクセレント搭	设资法人		0.741		0.114		14,877		0.0
合 計	口数・金額		652		859	147	, 044, 366		
Ti iT	銘 柄 数<比 率>		43		45	<	97.5%>		

- (注) 比率および合計欄の〈 〉内は、親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率。
- (注) 日本アコモデーションファンド投資法人、MCUBS MidCity投資法人、森ヒルズリート投資法人、産業ファンド投資法人、大和ハウスリート投資法人、アドバンス・レジデンス投資法人、ケネディクス・レジデンシャル投資法人、アクティビア・プロパティーズ投資法人、GLP投資法人、コンフォリア・レジデンシャル投資法人、日本プロロジスリート投資法人、SIA不動産投資法人、イオンリート投資法人、ロート投資法人、日本リート投資法人、BIA不動産投資法人、トーセイ・リート投資法人、ケスディクス商業リート投資法人、日本リート投資法人、日本ピルファンド投資法人、トーセイ・リート投資法人、日本リテクス商業リート投資法人、野村不動産マスターファンド投資法人、日本ピルファンド投資法人、ジャパンリアルエステイト投資法人、日本リテールファンド投資法人、オリックス不動産投資法人、日本プライムリアルティ投資法人、ブレミア投資法人、東急リアル・エステート投資法人、グローバル・ワン不動産投資法人、ユナイテッド・アーバン投資法人、森トラスト総合リート投資法人、インヴィンシブル投資法人、グローバル・ワン不動産投資法人、平和不動産リート投資法人、日本ロジスティクスファンド投資法人、福岡リート投資法人、ケネディクス・オフィス投資法人、再れかウス・SIレジデンシャル投資法人、いちごオフィスリート投資法人、大和証券オフィス投資法人、阪急リート投資法人、スターツプロシード投資法人、ドップリート投資法人、大和のフス・レジデンシャル投資法人、ジャパン・ホテル・リート投資法人、日本賃貸住宅投資法人、ジャパン・スタンレー批券、モルガン・スタンレーが開発が当該ファンドの一般事務受託会社等となっています。(各ファンドで開示されている直近の有価証券報告書または有価証券目出書等より記載)

純資産総額の10%を超える不動産ファンドに関する組入投資証券の内容 当期末において10%を超える銘柄の組入れはございません。

### 三菱UFJ Jリートマザーファンド2004

### 《第11期》決算日2015年4月10日

[計算期間: 2014年4月11日~2015年4月10日]

「三菱UFJ Jリートマザーファンド2004」は、4月10日に第11期の決算を行いました。 以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

運	用	方	針	わが国の金融商品取引所に上場している(上場予定を含みます。)不動産投資信託 証券への分散投資を行います。 銘柄選定およびポートフォリオの構築は、定性的評価・定量的評価を経て行います。定性的評価については、事業内容および財務内容等の分析を行います。定量的評価においては、キャッシュフロー、配当利回り、PBR(株価純資産倍率)等の分析を行います。 不動産投資信託証券の組入比率は高位(通常の状態で90%以上)を基本とします。
主	要 運	用対	象	わが国の金融商品取引所に上場している(上場予定を含みます。)不動産投資信託 証券(不動産投資法人の投資証券もしくは新投資口予約権証券または不動産投資 信託の受益証券をいいます。)を主要投資対象とします。
主	な組	入制	限	投資信託証券への投資に制限を設けません。 株式および外貨建資産への投資は行いません。

### 〇最近5期の運用実績

決	算	期	基	準	価 期 騰	落	額中率	(参考 東証REIT打	指数) 指数(配当込み) 期中 騰落率	投証組	-	信 託 券 比率	純総	資	産額
				円			%		%			%		百	万円
7期	(2011年4月	月11日)		11, 397			14.1	1, 538. 00	15. 3			96.6		23,	961
8期(	(2012年4月	月10日)		11,410			0.1	1, 499. 24	△ 2.5			98.2		18,	407
9期(	(2013年4月	月10日)		20,720			81.6	2, 620. 35	74.8			97. 9		62,	265
10期	(2014年4月	月10日)		19, 942		Δ	3.8	2, 462. 53	△ 6.0			98. 1		115,	315
11期(	(2015年4月	月10日)		27, 342			37.1	3, 333. 91	35. 4			98.6		165,	032

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) 東証REIT指数(配当込み)とは、東京証券取引所に上場している不動産投資信託全銘柄を対象として算出した東証REIT指数に、分配金支払いによる権利落ちの修正を加えた指数です。東証REIT指数の商標に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は東証REIT指数の内容の変更、公表の停止または商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。東京証券取引所は東証REIT指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対して、責任を負いません。

### 〇当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	日	基	準	価		額	<ul><li>( 参 考 東証REIT排</li></ul>	指 数 ) f数(配当込み)	投証	資	信	託券率
					騰	落	率		騰 落 率	組	入	比	
	(期 首)			円			%		%				%
	2014年4月10日			19, 942			_	2, 462. 53	_			9	98. 1
	4月末			20, 437			2.5	2, 520. 81	2. 4			9	98. 1
	5月末			21, 377			7.2	2, 645. 27	7. 4			9	98.0
	6月末			21,948			10.1	2, 710. 90	10. 1			9	98.6
	7月末			22, 251			11.6	2, 749. 06	11. 6			9	96.8
	8月末			22, 731			14.0	2, 815. 18	14. 3			9	97.6
	9月末			23, 134			16.0	2, 859. 23	16. 1			9	98.7
	10月末			23, 765			19.2	2, 942. 29	19. 5			9	98.9
	11月末			25, 471			27.7	3, 139. 72	27. 5			9	98.0
	12月末			26, 717			34.0	3, 273. 60	32. 9			9	98.7
	2015年1月末			26, 745			34. 1	3, 260. 64	32. 4			9	97.2
	2月末			26, 886			34.8	3, 306. 03	34. 3			9	97.9
	3月末			26, 574			33.3	3, 241. 62	31.6			9	96.3
	(期 末)												
	2015年4月10日			27, 342			37. 1	3, 333. 91	35. 4			9	98.6

(注)騰落率は期首比。

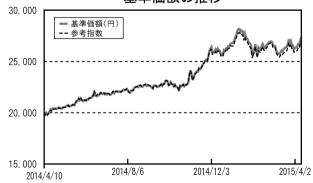
## 〇運用経過

### ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ37.1%の上昇となりました。





(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

### ●投資環境について

- ・期初は利益確定の売りなどが出て上値の重い 展開でしたが、2014年5月に入るとGPIF (年金積立金管理運用独立行政法人)が今後 REITの投資額を増やすとの期待などに後 押しされ上昇に転じました。
- ・度重なる公募増資などを消化しつつ、一段の 円安傾向や低位安定する長期金利に支えられ て上昇基調を維持し、さらに10月末には追加 的な金融緩和策が日銀から発表され急騰しま した。
- ・しかし2015年に入ると、公募増資などの発表が相次いだことなどにより利益確定の売りに押されて期末を迎えました。

## ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・銘柄選定およびポートフォリオの構築は主に、 定性的評価・定量的評価を経て行っています。
- ・定性的評価については、事業内容および財務 内容などの分析を中心に行い、定量的評価に おいては、キャッシュフロー、配当利回り、 PBR(投資口価格純資産倍率)などの分析

を行いました。

- ・組入銘柄数は43銘柄程度で推移させました。
- ・主な売買動向については、今後とも堅調な業績が見込まれるオリックス不動産投資法人のウェイトを引き上げたことなどや、相対的に割安感の後退した東急リアル・エステート投資法人のウェイトを引き下げたことなどが挙げられます。

また、銘柄選定についてはプラスに寄与しま した。

(プラス要因となった主な銘柄)

- ・インヴィンシブル投資法人:高収益なホテル 物件の取得による業績の大幅な拡大が見込め ることから期首より保有。投資口価格は上昇 しプラスに寄与。
- ・オリックス不動産投資法人:物件取得や賃料 値上げによる業績の回復基調を評価し期首よ り保有。投資口価格は上昇しプラスに寄与。
- ・大和証券オフィス投資法人:都心オフィス中心の物件ポートフォリオや業績の回復基調を評価し期首より保有。投資口価格は上昇しプラスに寄与。

## 〇今後の運用方針

## ◎運用環境の見通し

- ・当面のJ-REIT市場は、底堅い展開を想 定しています。
- ・オフィス市況については、テナントの動きが 活発化していることに加え、賃料の回復についても優良な一部物件以外への広がりが見られます。REIT各社の業績については、物件取得による収益寄与に加えてオフィス中心に賃料値上げが徐々に浸透しつつあり、増益への期待が高まりつつある状況です。
- ・バリュエーション(投資価値基準)については、配当利回りなどの観点から引き続き投資魅力はあるとみています。今後見込まれる高水準の公募増資などを消化しながらも、市場は底堅く推移するものとみられます。

### ◎今後の運用方針

- ・REITの組入比率については、運用の基本 方針にしたがい、引き続き高水準(90%以上) を維持する方針です。
- ・配当利回りやPBRなどのバリュエーション (投資価値基準)、また物件ポートフォリオの クオリティなどに着目し、安定した分配金が 見込め相対的に割安と思われる銘柄への投資 ウェイトを高めた運用を行います。
- ・前述の不動産市況を踏まえ、保有物件の賃料 動向など、REIT各社の業績の先行きについて特に注意深く見守るほか、スポンサーの サポート体制などにも着目していく方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

### (2014年4月11日~2015年4月10日)

項	П	当	期	項目の概要
坦	目	金 額	比 率	切り 気 安 に
		円	%	
(a) 売 買 委	託 手 数 料	60	0. 248	(a)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投資	信託証券)	(60)	(0. 248)	有価証券等を売買する際に発生する費用
合	計	60	0. 248	
期中の平	<sup>Z</sup> 均基準価額は、2	4,003円です	0	

<sup>(</sup>注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。 (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに 小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 〇売買及び取引の状況

### (2014年4月11日~2015年4月10日)

## 投資信託証券

	銘 柄	買	付	売	付
	9台 179	口数	金 額	口 数	金 額
		千口	千円	千口	千円
	日本アコモデーションファンド投資法人	8	3, 543, 899	9	3, 770, 050
	MIDリート投資法人	16	4, 485, 690	10	2, 804, 608
	森ヒルズリート投資法人	21	3, 444, 844	18	2, 658, 777
		( 3)	(540, 405)		
	野村不動産レジデンシャル投資法人	6	3, 691, 953	8	4, 717, 970
	産業ファンド投資法人	5	4, 694, 728	2	2, 327, 786
	Let you have a	( 3)	( -)		
	大和ハウスリート投資法人	5	2, 472, 557	8	4, 119, 610
	アドバンス・レジデンス投資法人	21	5, 334, 414	25	7, 068, 841
	ケネディクス・レジデンシャル投資法人	3	1, 166, 114	0. 9	300, 669
	アクティビア・プロパティーズ投資法人	6	6, 759, 458	7	6, 349, 408
	GLP投資法人	46	5, 689, 091	46	5, 496, 422
玉	コンフォリア・レジデンシャル投資法人	7	2, 361, 637	2	864, 571
	ET L. 20 SS - 31 J. HT. Wee VI. 1	( 2)	( -)	0.4	0.101.100
	日本プロロジスリート投資法人	29	7, 386, 881	34	8, 191, 168
	野村不動産マスターファンド投資法人	30	4, 016, 151	37	4, 924, 227
	イオンリート投資法人	25	3, 486, 028	36	5, 106, 803
	ヒューリックリート投資法人	9	1, 486, 981	11	1, 942, 024
	日本リート投資法人	13	4, 148, 803	3	1, 145, 544
	インベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人	24	2, 529, 657	15 —	1, 746, 824
	トーセイ・リート投資法人	1	244, 010		
	ケネディクス商業リート投資法人	10	2, 740, 383	10	2, 773, 793
	日本ビルファンド投資法人	20	11, 949, 645	18	11, 053, 181
	ジャパンリアルエステイト投資法人	18	10, 759, 259	15	8, 927, 395
	日本リテールファンド投資法人	32	7, 254, 180	45	10, 567, 846
内	オリックス不動産投資法人	57	8, 049, 027	28	4, 117, 005
, ,	日本プライムリアルティ投資法人	13	5, 332, 291	9	3, 672, 866
	プレミア投資法人	6	3, 549, 347	3	1, 574, 817
	東急リアル・エステート投資法人	17	2, 518, 688	33	4, 968, 095
	グローバル・ワン不動産投資法人	10	3, 690, 304	13	4, 917, 663
	野村不動産オフィスファンド投資法人	6	3, 291, 458	6	3, 464, 617
	ユナイテッド・アーバン投資法人	22	3, 745, 231	46	7, 619, 609
	森トラスト総合リート投資法人	21	4, 522, 880	25	5, 127, 062
	インヴィンシブル投資法人	180	5, 723, 996	17	402, 817
	フロンティア不動産投資法人	4	2, 433, 854	7	4, 132, 819
	平和不動産リート投資法人	23	2, 264, 498	30	2, 753, 860
	日本ロジスティクスファンド投資法人	30	7, 250, 441	21	5, 332, 513
	福岡リート投資法人	7	1, 384, 534	12	2, 627, 125
	ケネディクス・オフィス投資法人	10	5, 826, 678	9	5, 377, 294
	積水ハウス・SI レジデンシャル投資法人	42	4, 723, 497	30	3, 489, 413

	Dh.	₩:		買	付	•		売	付	
	銘	柄	口	数	金	額	日	数	金	額
				千口		千円		千口		千円
	いちご不動産投資	f法人		52	4	, 454, 285		27	2,	104, 445
	大和証券オフィス	、投資法人		10	5	, 797, 684		7	3,	968, 543
	阪急リート投資法	人		0.97		577, 507		1		758, 061
玉			(	(0.548)	(	<b>—</b> )				
	スターツプロシー	- ド投資法人		4		849, 309		3		673, 467
	トップリート投資	f法人		4	2	, 295, 468		6	3,	324, 422
	大和ハウス・レシ	ジデンシャル投資法人		5	2	, 145, 620		7	3,	040, 295
			(	( 2)	(	-)				
内	ジャパン・ホテル	<ul><li>・リート投資法人</li></ul>		48	3	, 844, 746		5		316, 784
	日本賃貸住宅投資	法人		19	1	, 537, 975		39	3,	114, 431
	ジャパンエクセレ	ント投資法人		9	1	, 485, 115		8	1,	139, 038
	森ヒルズリート哲	设资法人 (新)		3		540, 405		_		_
			(	(△ 3)	$(\triangle$	540, 405)				
	合	<b>∄</b> +		976	187	, 481, 223		773	174,	874, 602
	П	ĪΪ		(8)	(	-)				

<sup>(</sup>注) 金額は受渡代金。

<sup>(</sup>注) ( )内は分割・合併および償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## 〇利害関係人との取引状況等

(2014年4月11日~2015年4月10日)

## 利害関係人との取引状況

		PP / L. 455 /s/s			主人姬然		
区	分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	<u>B</u> A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 <b>D</b>	<u>D</u> C
		百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
投資信託証券		187, 481	67, 470	36.0	174, 874	60, 730	34. 7

## 利害関係人である金融商品取引業者が主幹事となって発行される有価証券

種類	買	付	額
			百万円
投資信託証券			10,606

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項	E	当	期	
売買委託手数料総額(A)			327, 70	6千円
うち利害関係人への支払額(E	3)		119, 92	4千円
(B) / (A)			36.	6%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UF J モルガン・スタンレー証券、モルガン・スタンレーMUF G 証券です。

## ○組入資産の明細

(2015年4月10日現在)

## 国内投資信託証券

Db 45	期首(前期末)		当 期 末		
銘 柄	口 数	口 数	評 価 額	比 率	
	千口	千口	千円	%	
日本アコモデーションファンド投資法人	5	4	2, 309, 552	1.4	
MIDリート投資法人	4	9	2, 850, 607	1.7	
森ヒルズリート投資法人	39	46	7, 935, 970	4.8	
野村不動産レジデンシャル投資法人	3	1	1, 155, 352	0.7	
産業ファンド投資法人	1	7	4, 554, 148	2.8	
大和ハウスリート投資法人	6	2	1, 581, 408	1.0	
アドバンス・レジデンス投資法人	16	12	3, 780, 332	2. 3	
ケネディクス・レジデンシャル投資法人	-	2	888, 000	0. 5	
アクティビア・プロパティーズ投資法人	5	5	5, 908, 868	3. 6	
GLP投資法人	29	29	3, 860, 570	2. 3	
コンフォリア・レジデンシャル投資法人	0. 335	7	1, 978, 112	1.2	
日本プロロジスリート投資法人	37	32	8, 705, 923	5. 3	
野村不動産マスターファンド投資法人	25	18	2, 721, 943	1.6	
イオンリート投資法人	11	0.086	14, 628	0.0	
ヒューリックリート投資法人	9	6	1, 207, 257	0.7	
日本リート投資法人	=	9	3, 137, 979	1.9	
インベスコ・オフィス・ジェイリート投資法人	=	8	990, 069	0.6	
トーセイ・リート投資法人	=	1	259, 252	0.2	
ケネディクス商業リート投資法人	=	0.636	186, 475	0.1	
日本ビルファンド投資法人	18	20	12, 218, 300	7. 4	
ジャパンリアルエステイト投資法人	19	22	13, 134, 680	8. 0	
日本リテールファンド投資法人	27	14	3, 538, 584	2. 1	
オリックス不動産投資法人	36	65	11, 441, 767	6. 9	
日本プライムリアルティ投資法人	7	11	5, 222, 274	3. 2	
プレミア投資法人	1	3	2, 734, 641	1.7	
東急リアル・エステート投資法人	17	1	164, 577	0.1	
グローバル・ワン不動産投資法人	5	3	1, 407, 194	0.9	
野村不動産オフィスファンド投資法人	1	0. 685	407, 575	0. 2	
ユナイテッド・アーバン投資法人	47	23	4, 674, 345	2. 8	
森トラスト総合リート投資法人	20	16	4, 028, 535	2. 4	
インヴィンシブル投資法人	9	173	11, 252, 410	6.8	
フロンティア不動産投資法人	4	0.907	525, 153	0.3	
平和不動産リート投資法人	35	28	2, 736, 159	1. 7	
日本ロジスティクスファンド投資法人	8	17	4, 417, 712	2. 7	
福岡リート投資法人	6	1	241, 248	0. 1	
ケネディクス・オフィス投資法人	3	4	3, 073, 290	1.9	
積水ハウス・SI レジデンシャル投資法人	1	13	1, 835, 296	1.1	
いちご不動産投資法人	26	51	5, 218, 089	3. 2	
大和証券オフィス投資法人	10	13	8, 969, 590	5. 4	
阪急リート投資法人	0. 257	0.068	10, 247	0.0	
スターツプロシード投資法人	3	3	779, 942	0. 5	
トップリート投資法人	2	0.762	387, 096	0. 2	

銘	柄	期首(前期末)		当 期 末		
珀	更白		数	口 数	評 価 額	比 率
			千口	千口	千円	%
大和ハウス・レジデンシャル投資法人			3	3	1, 030, 256	0.6
ジャパン・ホテル・リート打		22	65	5, 642, 942	3. 4	
日本賃貸住宅投資法人	日本賃貸住宅投資法人		45	25	2, 166, 550	1. 3
ジャパンエクセレント投資法人			7	g	1, 474, 645	0.9
合 計	口 数 · 金 額		592	803	162, 759, 550	
T IT	銘 柄 数<比 率>		41	46	<98.6%>	

- (注) 比率および合計欄の〈 〉内は、純資産総額に対する評価額の比率。

純資産総額の10%を超える不動産ファンドに関する組入投資証券の内容 当期末において10%を超える銘柄の組入れはございません。

## ○投資信託財産の構成

(2015年4月10日現在)

項		П	当期末				
<b>4</b>	Į.	Ħ	評	価	額	比	率
					千円		%
投資証券				10	62, 759, 550		95. 2
コール・ローン等、その他		8, 204, 089		4.8			
投資信託財産総額			1	70, 963, 639		100.0	

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年4月10日現在) ○損益の状況

(2014年4月11日~2015年4月10日)

	項目	当期末
		円
(A)	資産	170, 963, 639, 746
	コール・ローン等	5, 189, 755, 590
	投資証券(評価額)	162, 759, 550, 100
	未収入金	2, 014, 394, 971
	未収配当金	999, 931, 415
	未収利息	7,670
(B)	負債	5, 931, 556, 017
	未払金	2, 301, 265, 633
	未払解約金	3, 630, 290, 384
(C)	純資産総額(A-B)	165, 032, 083, 729
	元本	60, 357, 470, 923
	次期繰越損益金	104, 674, 612, 806
(D)	受益権総口数	60, 357, 470, 923 □
	1万口当たり基準価額(C/D)	27, 342円

#### <注記事項>

①期首元本額 期中追加設定元本額 期中一部解約元本額 57. 825. 775. 948円 16, 155, 750, 965円 13,624,055,990円

	項目	当 期
		円
(A)	配当等収益	3, 292, 357, 370
	受取配当金	3, 290, 944, 034
	受取利息	1, 413, 272
	その他収益金	64
(B)	有価証券売買損益	37, 071, 937, 149
	売買益	37, 511, 775, 334
	売買損	△ 439, 838, 185
(C)	当期損益金(A+B)	40, 364, 294, 519
(D)	前期繰越損益金	57, 489, 254, 823
(E)	追加信託差損益金	24, 333, 701, 487
(F)	解約差損益金	△ 17, 512, 638, 023
(G)	計(C+D+E+F)	104, 674, 612, 806
	次期繰越損益金(G)	104, 674, 612, 806

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みま
- (注) (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加 設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価 額を差し引いた差額分をいいます。

#### ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

三菱UFJ Jリートオープン (年1回決算型)

三菱UFJ Jリートオープン (3ヵ月決算型)

日本のリートファンド (毎月決算型) 合計

3,032,578,303円

57, 315, 524, 985円 9,367,635円

60. 357. 470. 923円

### [お知らせ]

- ①新たに発行可能となる新投資口予約権を投資の対象とする有価証券に追加し信託約款に所要の変更を行いました。 (2014年12月1日)
- ②デリバティブ取引等のリスク量計算を規格化し、定量的に規制する旨を信託約款に記載し、所要の変更を行いました。 (2014年12月1日)